

令和5年度 学校経営方針

大月町立大月中学校
校長 宮本 寅彦

1 基本方針

日本国憲法並びに教育基本法の精神に則り、大月町教育行政方針に沿って、本校の歴史と伝統を引き継ぎ、生徒・保護者・地域を理解し、「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身につけた生徒の育成をめざす。また、人権教育の精神を基盤に、地域から信頼され、新たな時流を生み出す活力ある学校経営にあたる。

2 学校教育目標

「心豊かな活力のある生徒の育成」～凡事徹底・継続・一流～

3 学校経営方針

「第3期高知県教育振興基本計画（改訂版）」に示された「チーム学校」を推進し、新学習指導要領に示される「社会に開かれた教育課程」を創造していくことが求められている。全教職員が参画して「学校経営計画」を策定し、検証をしつつ、さらに次の目標の達成に向かってPDCAサイクルを繰り返し回転させていく。

- (1) 「学習する学校」
- (2) 「学力向上・生徒指導・地域連携の3チームによる学校経営」
- (3) 「9年間を見通した授業改善」

4 めざす教師像

- (1) 学校教育目標実現のために、組織的、協働的に取り組む教職員
- (2) 教育公務員としての自覚と責任感を持って、積極的に取り組む教職員
- (3) 子どもたちのために確かな学力、豊かな心、健やかな体づくりに取り組む教職員
- (4) 子ども、保護者、地域を理解し、保小中連携した教育に努める教職員

5 めざす生徒像

- (1) 大きな声で「あいさつ・返事」ができる生徒
- (2) お互いの人格(人権)を尊重する生徒
- (3) つまづいても諦めず、最後までやり抜く生徒
- (4) 昨日の自分より、今日成長する生徒

6 重点目標及び目標達成のための行動指針

- (1) 全ての生徒が、安心して楽しく過ごせることのできる学校づくり
- (2) 学習過程を見直し、これからの時代を生きるために必要な学力をつける
- (3) 秩序ある学校
- (4) 地域の信頼にこたえる学校

「知」

- ・特別支援教育の視点や生徒指導の3機能を取り入れた授業のユニバーサルデザイン化
- ・家庭学習と授業の関連づけ
- ・主体的、対話的で深い学びを通して、これからの時代を生き抜く資質・能力を育成する

「徳」

- ・新規不登校0、暴力行為0
- ・教育相談の充実
- ・道徳教育、人権教育の充実

「体」

- ・健康教育の推進
- ・より良い生活リズムの習慣づけ
- ・体力の向上

7 研究主題

「確かな学力の向上と主体的に取り組む生徒の育成」

～学びあう集団を通して～